

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名

【 宮城県 】

1 実践テーマ	【 II IV 】
2 実施対象者	学校名：石巻市立渡波中学校 対象学年：1 学年 人 数：100名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他 (おもてなし講座) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピック教育の一環として「おもてなし、思いやりの心」、「礼儀正しさ」などについて学び、今後の日常生活につなげさせる。
5 取組内容	日常生活で気をつけなければいけない振る舞いや、本来の「もてなし」の意味、東京オリンピック・パラリンピックのボランティアなどについて、講話をいただいた。 <ul style="list-style-type: none"> ・外国の方々を迎えるためのグローバルマナー ・お客様をお迎えするとき大切な第一印象 ・第一印象を高めるための5原則 <ul style="list-style-type: none"> ➡これは高校受験や大学受験、就職試験のときなどに受ける面接のときにも大切なこと ・思いやりやおもてなしの心をどのように表すか ・おもてなしの表し方は一律ではなく、相手によって変わらなければいけないこと ・ある人にとっての一番が他の人にとっても一番になるとは限らないこと ・言葉描掛け、声掛けの大切さ



6 主な成果	<p>挨拶の大切さ、相手の気持ちを考えることなどの大切さについて学ぶことができたという生徒が多く見られた。</p> <p>意見発表の機会がある時には、3～5分原稿を準備し、発表時には原稿を見ずに自分の思いを伝えることができるようになり、スピーチ力の向上につながった。</p> <p>【生徒の感想より】</p> <ul style="list-style-type: none">・「おもてなし」の本当の意味を理解することができた。・2020年東京オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心が高くなった。・日常生活の中で常におもてなしの心をもって人と接していきたい。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none">・本校では昨年度も実施した取組だが、生徒達にとって大変ためになる講演であったため、今年度も実施することにした。・講師の先生と連絡を密にとり、講演内容について細かな打ち合わせを行う。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none">・今回の講演会で学んだことを、今後の生活にどのようにいかしていくか。・保護者や地域の方々にも参加しやすいように、参観日と抱き合わせにするなど工夫が必要。・計画や事前の交渉を早めに行う。
9来年度以降 の実施予定	<p>講演内容は、2020年東京オリンピックに向けてのことだけではなく、日常生活の中で必要なことが内容として盛り込まれている。それを今後、授業と連動させながら継続して指導していく必要がある。</p>